

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名		農業経営者育成菊池農業高校後援会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	今村 萌
	施策の柱	70	後継者の育成			所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番	10274	根拠法令	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県下唯一の農業経営者育成高等学校の指定を受け、後援会会則の中で出身市町村は在席生徒数で会費を負担し、後援会活動を支援する。昭和40年、県下唯一の「農業経営者育成高等学校」の指定を受け、後援会組織を立ち上げる。
【業務の流れ】	負担金の支払い事務
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特に意見や要望は聞いていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	農業経営者育成高等学校として国の指定を受けた同校の後援会への活動支援として会費を負担した。(菊池市、山鹿市共)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 菊池農業高校後援会への活動支援としての会費負担
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 活動回数 イ:	予算の主な増減の理由 在籍生徒数の減に伴う負担金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	農業経営者育成菊池農業高校後援会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 合志市生徒数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	農業就農者の育成を支援してもらう。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % ア: 卒業生(市内在住者)の就農予定者の割合 イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 卒業生が就農することで、後継者ができ、後援会活動の成果となる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度 実績(決算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	6年度 予定	7年度 見込	8年度 見込
① 活動指標	ア: 回 イ:		0	0	5	0	5	5	5	5
② 対象指標	ア: 人 イ:		93	66	100	75	100	100	100	100
③ 成果指標	ア: % イ:		6	2	3	2	3	3	3	3
投資	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
入費	繰入金	千円								
	一般財源	千円	35	35	35	35	25	35	35	35
	(A) 事業費計	千円	35	35	35	35	25	35	35	35
	(A)のうち指定経費	千円	35	35	0	0	25	35	35	35
人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	20	20
(B)人件費計		千円	78	78	79	76	79	79	79	79
トータルコスト(A)+(B)		千円	113	113	114	111	104	114	114	114

事務事業名	農業経営者育成菊池農業高校後援会活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 近年の就業構造の変化で、卒業生の就農者が減少している。また、卒業後、進学や研修を経て就農する者もいるため卒業生の就農者数のみを見て判断はできない。
	② 5年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 就農への確実な人数把握ができない。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 優秀な農業従事者を得るため、後援会活動の向上余地はある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 農業後継者育成高等学校後援会会則で定められている。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支払い事務であり、職員以外での対応ができない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 農業後継者確保のための農業高校の後援事業であり公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 後援会会則の中で出身市町村は在席生徒数で会費を負担し、活動支援をおこなっているため、行政での対応しかできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

有効性については、優秀な農業従事者を得るため、後援会活動向上の余地はある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						